

経営学委員会 経営大学院における認証評価の国際通用性に
関する分科会 (第24期・第4回)

議事録

記録 分科会幹事 戸谷圭子

出席者 鈴木久敏、仙石正和、高橋宏幸、戸谷圭子、西尾チヅル、馬越恵美子、
森田雅也、山本昭二 (五十音順、敬称略)

1. 日 時 平成30年11月30日(金) 14:00~16:00

2. 会 場 日本学術会議6階6-A(1)会議室

3. 議事概要

1) 今後の進め方

- ・学術会議の今年度予算の状況について、鈴木委員長から説明があり、これを受け、今年度の開催は取りやめ、来年度早々の分科会開催とすることとなった。
- ・当初2年間の活動で報告書をまとめる予定であったが、予算の関係で十分に議論する機会がもてないので、3年に延期することを申請することとなった。

2) 認証評価の国際通用性を確保する方策について(自由討議)

委員長からの資料2、3に基づいて、議論を行った。

3) その他

- ・第4回分科会で委員長から提案のあった「分科会からの提言・報告の目次案」(添付ファイル参照)について、各章節の追加・削除の提案および目次案に対する意見を年内(12/31)に委員長に提出する。
 - ・上記のファイルの2枚目「分科会からの提言・報告の骨子(委員メモ用)」を参考に、目次案の章節毎に記載すべきと考える項目名及び各委員があるべき考える議論の方向性を記して、同じく年内(12/31)に委員長に提出する。
- ※必ずしもすべての章、節について網羅しなくても良い。

- ・その上で、ご自分で報告書原稿の素案の執筆を担当したい、あるいは 担当できそうな章または節を、各自申告する。報告書における分量は 各節当たり A4 で 0.5～2 ページ(750～3,000 字)程度。
- ・各委員からの上記の追記を受けたものを委員長の方で整理し、来年度早々の分科会でフリーディスカッションする。

4) 次回の予定

平成31年5月とし日程は別途調整する。引き続き、海外認証機関から認証審査を受けている大学院から報告を受ける。

4. 配布資料

- 資料 1 : 前回議事要旨
- 資料 2 : 経営学大学院における認証評価の国際通用性に関する分科会からの提言・報告 目次案について
- 資料 3 : 分科会からの提言・報告の骨子(委員メモ用)
- 資料 4 : 国際認証評価に関する議論の経緯

以上